



「2025年3月ダイヤ改正について」団体交渉実施！～その④～

【箇所体制】 箇所体制と職場環境改善等を議論しました。

組合：各箇所における箇所体制の変更理由を明らかにすること。

会社：土浦統括センター運転士の短時間行路を一般行路に組み込んだことで1削減。

水戸統括センターは車掌行路で改札ダイヤを担うため一般の交代が1削減。

勝田といわきの管理は勤務体系が変更となる。

いわき統括センターは特急列車乗務範囲拡大に伴い車掌の日勤1増加。

全ての箇所で関係箇所と持ち替えを行った影響で増減が発生している。

組合：勝田統括センターではリクライニングチェアが無くなり、休憩しづらい意見がある。

会社：昨年間内改良を実施し、椅子や机の交換を行った。仮眠スペースや深めの椅子を用意し、他区乗務員も使えるように設置した。現行で理解していただきたい。

組合：岩沼駅上り10両停止位置目標付近に鳩糞が多い。清掃や鳥獣対策を行うこと。

会社：現状を把握し、東北本部に連絡していく。

組合：磐城石川駅において、全列車全ドア開扉を行う理由を明らかにすること。

会社：ツーマン列車と駅社員が滞在する時間帯は全ドア開扉。それ以外が一番前のドアのみ開扉であり、お客さまにとってはわかりづらさがあった。ダイヤ改正で統一し、磐城石川駅に回収箱を設置する。

【水戸統括センター】

①水戸統括センター(運転士)51行路において、水郡線と水戸線を乗務することから、列車遅延時等の異常時における対応を明らかにすること。また、発車方式が異なるため、取り扱い誤りがないようにすること。

組合：水郡線と水戸線を乗務する行路を作成した理由を明らかにすること。

会社：水戸統括センターならではの仕事や効率性を鑑みて作成した。今まで水戸線はツーマン運転であったが、中編成ワンマン運転拡大に伴い、水戸線もワンマン運転となった。水郡線と同様であるため、今回の行路を作成した。

組合：乗務予定の921D及び922Dはツーマンのブザー式である。水戸線は知らせ灯式であるため、発車方法が異なり危険性が高まると認識している。

会社：乗務線区や車両も異なる。水郡線乗務の後に休憩も出来るので切り替えは出来ると考えている。

組合：2022年5月静駅で車掌を置き去りにした事象があった。原因と対策を明らかにすること。

会社：車掌は発車合図を送っておらず、お客さま対応で列車から降車、運転士は思い込みで発車した。対策として日頃からコミュニケーションを図ることを周知してきた。

組合：気動車と電車で異なることから、切り替えが出来るように対策を講じること。

会社：訓練や社員の意見も踏まえ、教育やサポートは行う考えである。

②水戸統括センター(車掌)201行路における誘導業務について、列車遅延時等の異常時における対応を明らかにすること。また、誘導業務について、教育・訓練を充実すること。

組合：誘導業務の教育内容やスケジュールを明らかにすること。

会社：駅社員が実施する誘導業務の動画視聴等を行い、指定通路や設備を確認する。また水戸駅構内梅香において併合車両の誘導業務の訓練を2月下旬に実施する。

組合：列車遅延等で誘導業務が出来ない場合の対応を明らかにすること。

会社：他の車掌や駅社員等、統括センター総体で対応する。現在の誘導業務は駅社員が対応している。技量維持のため月1回は201行路と共に対応する考えである。